

Prored Partners

株式会社プロレド・パートナーズ  
東京証券取引所プライム市場（証券コード：7034）

# 2024年10月期 通期決算 説明資料

thinkOut

2024.12

<b>1. 2024年10月期 通期決算概要</b>	P3
<b>2. 2025年10月期 通期業績予想</b>	P10
<b>3. Appendix</b>	
<b>ブルパス・キャピタルの進捗状況</b>	P13
<b>参考資料</b>	P16

# 1. 2024年10月期 通期決算概要

## 1. 2024年10月期 通期決算概要

## 業績ハイライト

## 1. プロレド単体

- 売上高
  - ✓ 成果報酬型コンサル：厳しい環境は継続しているが、若干上振れして着地
  - ✓ 固定報酬型コンサル：ストラテジー／デジタル&ハンズオン事業が堅調な成長であり、上振れして着地
- 利益
  - ✓ 営業利益：売上高の増加および継続的なコストの見直しにより赤字幅が縮小
  - ✓ 経常利益：当社グループが出資している投資事業有限責任組合（ドルフィン1号およびインフレーションII号SP）の運用の結果、投資事業組合運用益を計上

## 2. グループ会社

- ナレッジ：ISCC認証支援及び公共機関向け調査/計画策定事業の好調により、上振れして着地
- ブルパス：投資案件の株式譲渡を実行し、投資事業組合運用益を計上

連結売上高

3,205 百万円

(前年同期比 +18.0%)

連結営業利益

-90 百万円

(前年同期 +281百万円)

(親会社株主に帰属する)純利益

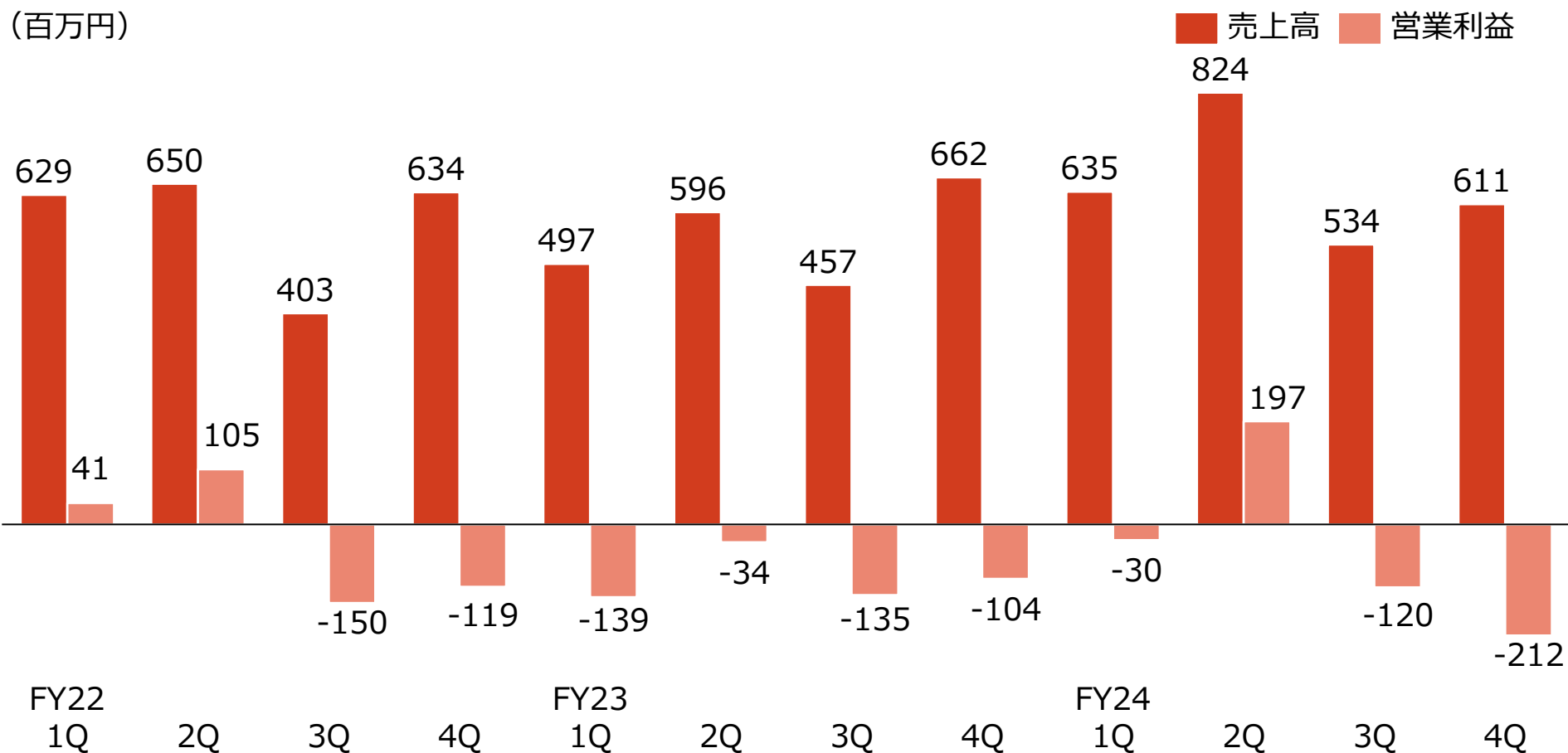
319 百万円

(前年同期比 -60.9%)

## 業績概要

(単位：百万円)	2023年10月期 実績	2024年10月期 実績	対前年同期比 増減率 (%)
売上高	2,715	3,205	18.0%
売上原価	1,952	2,101	7.6%
人件費	1,147	1,303	13.6%
その他	804	797	-0.9%
売上総利益	763	1,103	44.6%
粗利率	28.1%	34.4%	
販売費及び一般管理費	1,135	1,194	5.2%
人件費	507	404	-20.4%
採用費	57	286	395.3%
その他	570	503	-11.7%
営業利益	-372	-90	—
営業利益率	-13.7%	-2.8%	
経常利益	4,378	1,275	-70.9%
(親会社株主に帰属する)純利益	818	319	-60.9%

# プロレド単体 | 売上高 営業利益 四半期推移

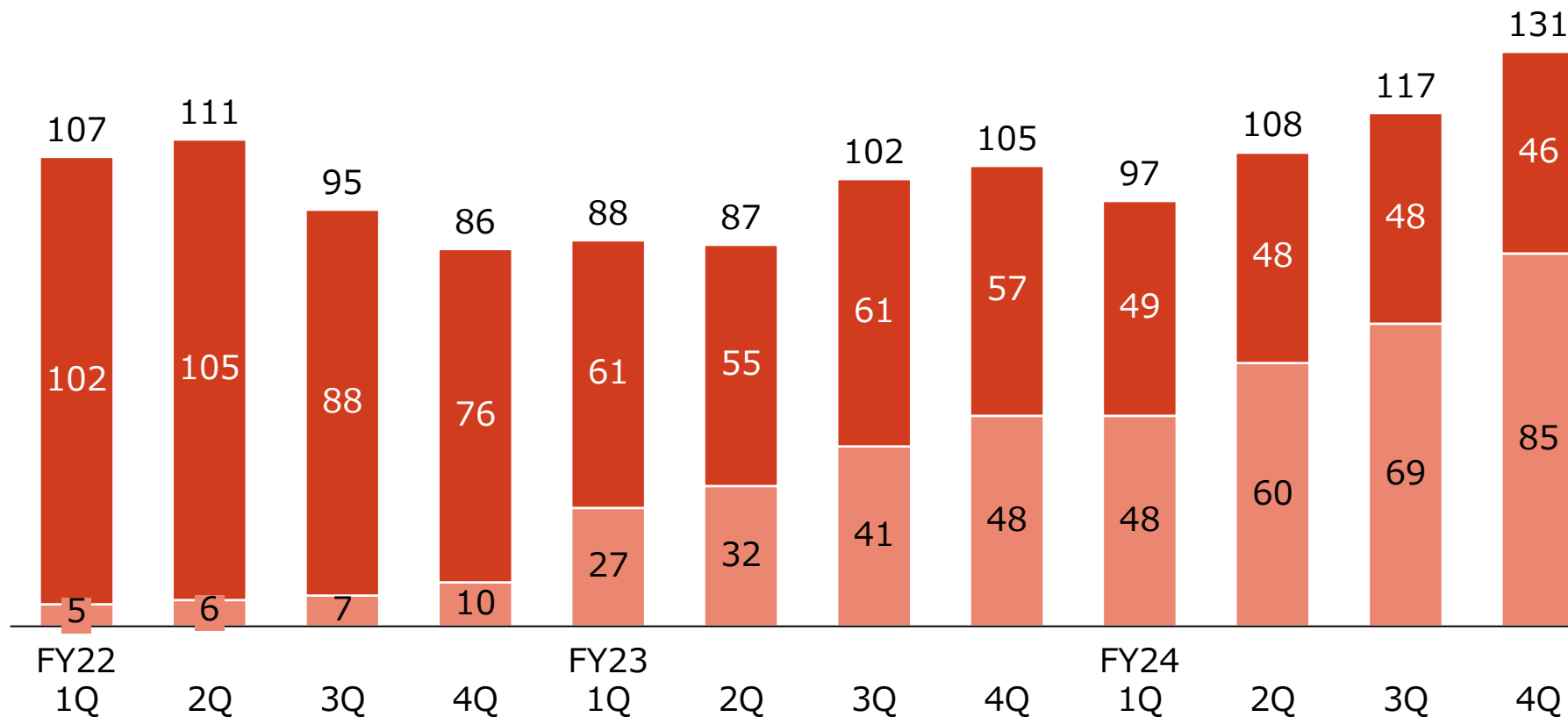


## プロレド単体 | コンサルタント人数 四半期推移

- コンサルタントは期末時点で131名に増員。2025年10月期は200名体制とすることを目標に引き続き新規採用に注力

(人)

■ 成果報酬型 ■ 固定報酬型



\*各四半期末時点の在籍人数

# 1. 2024年10月期 通期決算概要

## プロレド単体 | サービスライン

- 徹底的な現場主義に基づき、ビジネス・デジタルコンサルティングを中心とした幅広いテーマで実行支援サービスを提供






### コンサルティング

### SaaS


テーマ

プロジェクト例

固定報酬  
(成功報酬)

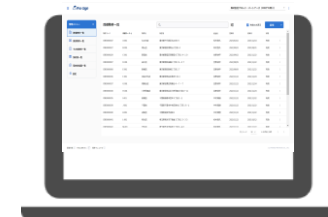
成長戦略		中期経営計画／新規事業開発支援 グローバル戦略／営業・マーケティング戦略実行支援
DX推進		システム導入支援／デジタル戦略立案・実行 PMOによるプロジェクト実行支援／ITコスト削減
M&A/DD/PMI		ビジネス／財務デューデリジェンス 経営人材（CXO）派遣によるハンズオン支援
コストマネジメント		調達組織立ち上げに伴うルール／ツール整備 サプライチェーン最適化戦略立案／実行支援／業務BPR支援
人材育成		実践的な幹部候補人材育成・組織戦略策定／実行 生成AIを活用した評価策定プラン

成果報酬

コストマネジメント		間接材・直接材・物流コストの削減
-----------	---	------------------



(店舗情報管理)

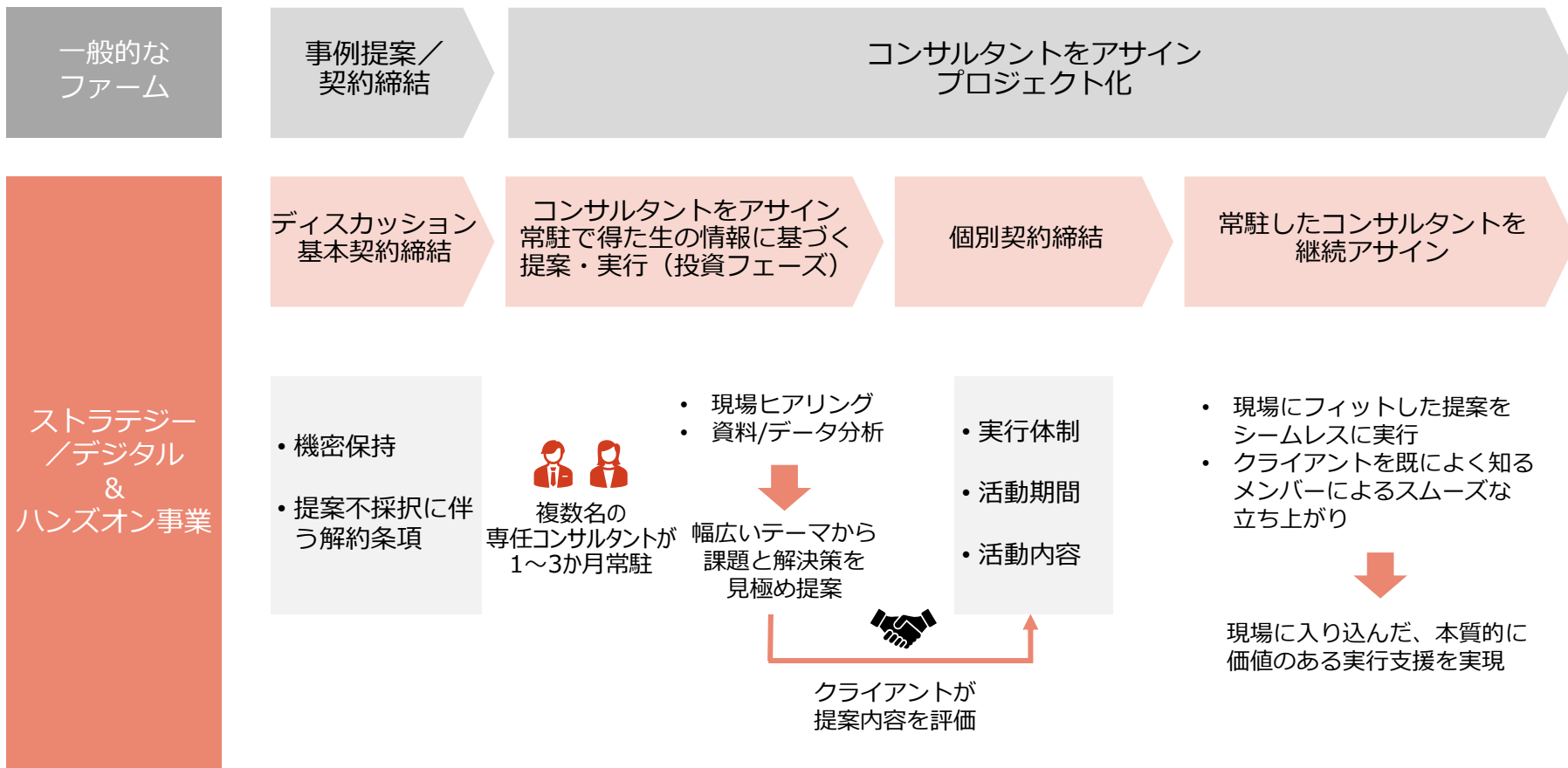




# 1. 2024年10月期 通期決算概要

## プロレド単体 | 固定報酬型(成功報酬)コンサルの新たなモデル

- 「価値 = 対価」を体現するべく、ストラテジー／デジタル&ハンズオン事業と称して、有償契約の前に「投資フェーズ」を設ける新たなモデルを確立



## 2. 2025年10月期 通期業績予想

## 2. 2025年10月期 通期業績予想

## 2025年10月期 通期業績予想

- プロレド：  
固定報酬型（成功報酬）コンサルの更なる拡大を企図、伴って採用予算が前期比で大幅増の見込み  
売上高3,204百万円（増減率23.0%）、営業利益-848百万円（前年同期は-165百万円）の予想とした
- ナレッジ：  
2050年ネットゼロに向けた市場好況に連動しての拡大を企図、伴って増員のため人材採用に予算投下  
売上高653百万円（増減率8.4%）、営業利益92百万円（増減率-20.5%）の予想とした

## 2025年10月期通期業績予想

(単位：百万円)	2024年10月期 実績	2025年10月期 予想	増減額	増減率 (%)
売上高	3,205	3,857	652	20.4
営業利益	-90	-757	-667	-

- 業績予想について
  - ✓ のれん償却やブルパスに係る販管費が一部計上されているため、プロレドとナレッジの合算数値とは差異があります
  - ✓ 経常利益および親会社株主に帰属する当期純利益については、当社グループが出資している投資事業有限責任組合の運用による損益の発生時期および金額の合理的な予測が困難であることを踏まえ、予想は非開示としております
  - ✓ 中期経営計画もしくは中期経営ポリシーについて、2025年10月期 通期決算発表において開示予定であります
- IR方針について
  - ✓ 当社ではファンド運営に支障が出ないようブルパスに関する情報開示は、法定開示のみとしております

## 2. 2025年10月期 通期業績予想

## プロレド単体 | 2025年10月期 通期業績予想

- 成果報酬型コンサル：  
エネルギーコストの急増、インフレ、これらに伴う値上げの影響が継続しており減収見込み。当期も継続的な人員配置の見直しを含む効率化を推進
- 固定報酬型（成功報酬）コンサル：  
デジタルや人材育成、M&A戦略、オペレーション領域でも堅調に伸びている状況を鑑み増収見込み。引き続きこれら領域の拡大に注力すべきと考え、人員配置転換や採用による組織拡大を推進
- SaaS：新リース会計基準適用に向けて引き合いが増加、今後導入が進むことを企図して増収見込み

## 2025年10月期通期業績予想（単体）

(単位：百万円)	2024年10月期 実績	2025年10月期 予想	増減額	増減率 (%)
成果報酬型コンサル	1,247	776	-471	-37.8
固定報酬型コンサル	1,330	2,354	1,023	77.0
SaaS	25	73	47	184.6
合計	2,604	3,204	599	23.0

- プライムの上場維持基準について  
当社では2023年3月31日付「上場維持基準への適合に向けた計画の更新」において、2030年10月期までに基準を充足する旨開示しております。経過措置の取り扱いでは、例外として2026年3月以後最初に到来する基準日を超える期限の計画を開示している会社は、計画期限における適合状況を確認するまで監理銘柄指定が継続されるため、仮に2026年10月期までに基準を充足できずとも上場廃止となることはございません。

### 3. Appendix : ブルパス・キャピタルの進捗状況

## 3. Appendix : ブルパス・キャピタルの進捗状況

## ポートフォリオ



Japan DHAホールディングス

- ・真面目に働いて十分な収入がありながらも、雇用の安定性や国籍、過去の信用事故等の問題で通常のカーローンがおりない方に対し、近年の技術発展により生まれた新しい信用創出・補完の仕組みとセットで車を提供するサービスである「クルマテラス」を運営する
- ・非正規雇用者数の増加や在留外国人数の増加は続いており、カーローンにおける与信創出・補完のニーズは今後も高まることが見込まれる



リポット株式会社

- ・国内25店舗で猫カフェを運営、海外観光客含めて幅広い顧客層のニーズに応じており、国内猫カフェ業界におけるニッチトップ企業である
- ・猫カフェは日本のカルチャーとして外国人観光客からの人気も高く、国内外の顧客を巻き込みながら市場は成長傾向にあり今後もインバウンドの増加等により当該傾向は継続すると想定される

高六商事株式会社  
TAKAROKU Shoji Co., LTD.

- ・着色/コンパウンド樹脂を生産するメーカー機能や独自の技術開発機能を強みに、プラスチックの専門商社として国内トップクラスの売上高を誇る



- ・主に業務用の美容脱毛機器、痩身機、家庭用脱毛機器を製造/販売しており、深い顧客理解に基づく競合優位性を有した製品力と他社には無い自前の集客チームによってシェアを拡大している

野口英世記念  
野口医学研究所  
Noguchi Medical Research Institute Since 1982

- ・設立以来、24時間電話医療相談サービスや被保険者が海外で受けた治療内容を確認する海外保険調査サービス等を順次提供し、2006年からは健康食品/サプリメントの販売を開始。国内大手ドラッグストアを中心に販売され、中国においても高い知名度とブランド力を誇る

\*本スライドでは、公表可能な案件のみを開示しております

## ポートフォリオ



- 1997年創業のアパレルを中心とした海外ブランドや国内ブランドの販売代行業務を担う企業
- 特に海外ブランドが地理的ナレッジを有さない地方部のアウトレットモール出店において強みを有し、創業以来業界を牽引する企業として高いシェアを占める。また、昨今はアパレル以外のコスメ/スイーツ系の販売代行業務の請負も開始し、継続的に成長している



- 1913年に創業し、主に東日本エリアを中心として、公共/民間土木工事の現場で使用される土木建築用資機材の販売・施工や工場で使用される産業資機材の販売を担う商社
- 幅広い商品ラインナップと高い営業力によりゼネコン等からの信頼を集め、東日本エリアにおいて高いシェアを確立。防災・災害対応の観点でインフラ基盤を支えるという重要な役割を担う



- 「八百心」「ビバーチェ」の屋号にて、首都圏近郊の生鮮食品スーパーマーケットやディスカウントストア内を中心に約30店舗を展開する青果物販売のコンセッショナルリー・チェーン



- 大手オンラインショッピングモールにて、MURA ブランドを冠した財布・バッグなどの革小物製品を企画・販売している D2C 企業



- 「amie」ブランドのヘアサロンを中心に、首都圏近郊にて直営店約50店舗を展開する業務委託型の美容室チェーン



- 渋谷発の祖業ブランドである VANQUISH、原宿の旗艦店を発信拠点として、写真によるSNS コミュニケーション時代を象徴するストリートファッションブランドである #FR2 などの複数ブランドを展開するファッションアパレル企業

\*本スライドでは、公表可能な案件のみを開示しております

### 3. Appendix : 參考資料



## 会社概要

---

会社名	株式会社プロレド・パートナーズ   Prored Partners CO.,LTD.
証券コード	7034 (東証プライム市場)
代表取締役	佐谷 進
創業	2009年12月 (設立 2008年4月)
決算期	10月
事業内容	経営コンサルティング、環境コンサルティング、PEファンド
従業員数	203名 (2024年10月31日現在)
本社所在地	東京都港区芝公園1丁目1-1 住友不動産御成門タワー7階
グループ会社	株式会社ナレッジグリーン、株式会社ブルパス・キャピタル (PEファンド)

## 連結貸借対照表

(単位：百万円)	連結累計		
	2023年10月期 実績	2024年10月期 実績	増減率 (%)
総資産	11,978	13,114	9.5%
流動資産	6,172	6,257	1.4%
うち現金・預金	5,404	5,519	2.1%
固定資産	5,805	6,857	18.1%
負債	1,911	1,791	-6.3%
流動負債	920	934	1.6%
固定負債	991	856	-13.6%
純資産	10,066	11,323	12.5%
株主資本	6,047	6,399	5.8%
非支配株主持分	4,019	4,923	22.5%

## 本資料の取り扱いについて

---

- 本資料には、将来の見通しに関する記述が含まれています。これらの記述は、当該記述を作成した時点における情報に基づいて作成されたものであり、将来の結果を保証するものではなく、リスクや不確実性を内包するものです。実際の結果は様々な要因により、将来の見通しと大きく異なる可能性があることにご留意ください。
- 本資料には、監査法人による監査を受けていない過去の財務諸表または計算書類に基づかない管理数値が含まれています。
- 本資料の日付以降の事象および状況の変動があった場合にも、本資料の記述を更新または改訂する予定はありません。
- 本資料に含まれる当社以外に関する情報は、公開情報等から引用したものであり、かかる情報の正確性、合理性等について当社は独自の検証を行っておらず、またこれを保証するものではありません。



Prored Partners

プロフェッショナル Pro + red 情熱の赤